

Automatic tackle-depth controlling apparatus

Utility model Publication No. H01-90365

Publication date: June 14, 1989

Inventor: Satoru Yakushiji

Applicant: Sharp Corporation

Classification A01K 97/00, G01S 15/96, G01C 13/00

**Abstract**

Based on a depth-of-water measurement result of a fishfinder, controlling means controls an electric fishing reel so as to maintain a tackle at a fish-existing area by winding or sending out a fish line.

**Best Available Copy**

⑤ 日本国特許庁 (J P)

⑥ 実用新案出願公開

⑦ 公開実用新案公報 (U)

平1-90365

⑧ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑨ 公開 平成1年(1989)6月14日

A 01 K 97/00

G 01 S 15/86

G 01 C 13/00

Q-7416-2B

6903-5J

6781-2F

審査請求 未請求 (全3頁)

⑩ 考案の名称 自動タナ取り装置

⑪ 実 願 昭62-185897

⑫ 出 願 昭62(1987)12月4日

⑬ 考 案 考 案 師 寺 聡

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社内

⑭ 出 願 人 シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

⑮ 代 理 人 弁理士 野河 信太郎

## ⑯ 実用新案登録請求の範囲

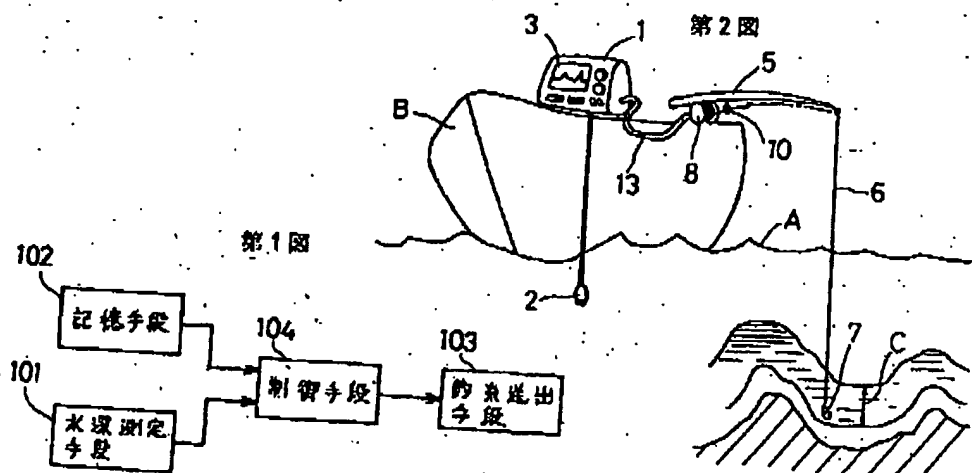
水深を測定する水深測定手段と、水深に対応して予想される魚層領域までの深度を記憶する記憶手段と、漁船に魚釣用の仕掛けを取り付けた釣糸の送り出しおよび入れ戻しをおこなう釣糸送出手段と、水深の測定結果に基づき前記仕掛けを対応する魚層領域に到達させるよう前記送出手段を制御する制御手段を備えてなり、前記仕掛けを魚層領域に自動的に到達保持させることを特徴とする自動タナ取り装置。

## 図面の簡単な説明

第1図はこの考案の構成を示すブロック図、第

2図はこの考案による自動タナ取り装置の一実施例の概要を示す説明図、第3図は第2図で示した自動タナ取り装置の構成を示すブロック図である。

1……魚群探知器本体、2……ソナー部、3……CRTディスプレイ、4……ROM、5……釣竿、6……釣糸、7……仕掛け、8……電動リール、9……リール出力部、10……検出センサ、11……深度決定部、12……糸出し量制御部、13……ケーブル、14……キーボード。



実開 平1-90865(2)

第3図

